

議会だより 第19号

平成30年度一般会計当初予算

27億2,000万円

特別会計当初予算

国民健康保険特別会計（事業勘定）	3億1,800万円
国民健康保険特別会計（直診勘定）	951万円
介護保険特別会計	3億6,000万円
後期高齢者医療特別会計	3,340万円
簡易水道事業特別会計	3,390万円
農業集落排水事業特別会計	5,580万円
林業集落排水事業特別会計	600万円
下水道事業特別会計	3,680万円

平成30年第1回（3月）定例会が3月8日から12日までの5日間の会期で開催され、条例14件、29年度各会計補正予算6件、30年度各会計当初予算9件、指定管理者指定6件、同文議決1件、その他2件などが提案され、慎重に審議された結果、原案どおり可決されました。

一般質問には、1名の議員が登壇し、執行部への考えを質しました。

議会を傍聴してみませんか

次回の定例議会は6月です

（手続は住所・氏名を書くだけです）

詳しくは議会事務局 ☎ 44-0319 まで

一般会計当初予算の主な施策

農業・畜産振興施設等整備事業補助金 1,118万円

- ・農業機械や畜舎等の整備支援（補助率50%）

産業担い手支援補助金 250万円

- ・農林商工業の担い手対策として、就業者に年間50万円、最大5年間の給付。

産業推進機構事業 2,843万円

- ・村内の産業振興を図るための、生産現場の強化及び特産品の開発等。

有害鳥獣対策事業 1,827万円

- ・沓、イノシシ等の有害鳥獣捕獲対策に係る補助。
- ・有害鳥獣被害対策の資材補助（補助率75%）

山村活性化支援交付金事業 1,116万円

- ・村内の筍、椎茸等、特用林産の振興。

道路新設改良・舗装事業（村道） 6,150万円

- ・上七代線道路改良、下本野線道路改良
- ・湯山縦断線道路舗装

定住促進事業 1億550万円

- ・岩野宮田地区宅地造成 4区画
- ・湯山覚井地区宅地造成 7区画
- ・湯山地区定住促進住宅(1LDK) 建設 4戸

高等学校通学費等補助金 619万円

- ・村内の高校生を対象に、通学定期券購入費及び寮費・下宿代等を補助。
- ・補助対象経費の8割を補助(1万円/月を上限)

海外ホームステイ事業補助金 80万円

- ・夏休み期間中に海外での体験学習を中学生対象(2名分)に実施。

村民体育館整備事業 710万円

古屋敷体育館耐震補強事業 1,220万円

クロスカントリー整備事業 4,539万円

- ・更衣室拡張、アイシングプール2基増設、屋外シャワー施設の新設等。

ドライブレコーダー設置 90万円

- ・交通事故責任の明確化、街中で発生した犯罪の記録など注目されているドライブレコーダーを消防車両を除く公用車全てに設置。



高齢者等タクシー利用料助成金 2,000万円

- ・地域公共交通を補う交通手段として、交通弱者の生活交通確保と健康老人の増加、高齢運転者の事故防止、運転免許証返納を推進。

民放ラジオ難聴対策事業 1億2,422万円

- ・災害発生時の第一情報提供手段としてRKKラジオを受信し、FM波で再送信するための施設を整備。

携帯電話不通話対策事業 2,160万円

- ・戸屋野地区にNTTドコモの中継塔を整備し、当地域を含め市房ダム湖周辺の不通話解消を図る。



保育所運営費 1億1,946万円

- (平成30年4月1日現在)
- ・岩野保育所 59人
 - ・湯山保育所 18人
 - ・広域入所 10人

子ども医療費助成事業 929万円

妊産婦健康診査、不妊治療交通費助成事業 26万円

- ・管外の医療機関で多胎妊娠など高度医療が必要な妊産婦の受診、不妊治療を受けている夫婦に交通費を助成し、子育て支援を促進。

伝染病等予防事業 913万円

- ・子宮頸がん予防ワクチン接種
- ・インフルエンザ予防接種
- ・ヒブワクチン予防接種
- ・小児用肺炎球菌ワクチン予防接種
- ・高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種
- ・B型肝炎ワクチン予防接種
- ・四種混合ワクチン予防接種

思春期健康診査事業 35万円

- ・平成30年度から中学生を対象に生活習慣病予防の大切さを理解させ、正しい生活習慣を身につけさせる取組み。

村長諸般の報告

○水上村消防団出初め式、上球磨消防団連合会放水競技大会

新春を飾る水上村消防団出初め式が1月7日に開催。上球磨消防団連合会放水競技大会が1月11日開催され、本村代表として出場した上楠班がポンプ車の部で5連覇の偉業を達成し、小型ポンプの部に出場した幸野班、宮田班は入賞は逃したものの健闘。

○第6回公認奥球磨ロードレース大会

出場者は年々増加し、1月14日開催された大会当日は508名が出走。



○熊本県物産展 in 基隆

台湾基隆港と八代港が姉妹港協定を締結していることから、八代市が県南地域の市町村に呼びかけ氷川町と水上村が一昨年の第1回から参加し本年が3回目の参加。2月3日から4日にかけて、本村からは無農薬栽培の白米とお茶、栗の渋皮煮などを出展販売。台湾人の食の安全性に対する意識の高さ、無農薬農産物の付加価値の高さについて参加した農家経営者も実感された。今後も国内の販売戦略と合わせ海外を視野に入れた販路拡大とPRにつながるこ

とを期待したい。
○球磨郡町村会 平成30年度管内主軸事業3回目の上京要覧

2月6日から7日にかけて地元選出の自民党国会議員9名と国土交通省、財務省へ国道219号線、国道388号線、国道455号線の3路線の整備予算の確保に限定した要望を実施。

○クロスカントリー合宿誘致活動

2月7日から9日にかけて青山学院大学、城西大学、早稲田大学、東京国際大学、帝京大学、創価大学、国士舘大学、第一生命保険株式会社を訪問し、誘致活動を実施。合宿が決定している企業、検討している大学、興味を示している大学があり今後も継続的に誘致活動に取り組み、所期の目的が達成できるよう努めたい。

○宮城県仙台市の「みんなの広場」パーゴラ完成式典への参加

2月17日、湯前町・水上村東北地方太平洋沖地震災害復旧支援協議会より寄贈した木材で製作されたパーゴラの完成式典が、宮城県仙台市宮城野区新浜で開催され、当協議会会長の鶴田湯前町長と参加。平成23年10月に当協議会より寄贈の木材で建設された「みんなの家」は、仮設住宅の整理に伴い昨年4月に現在地の宮城野区新浜に移設されたため、今回のパーゴラも同地区の

「みんなの広場」に建設されたもの。式典には関係者約30名が出席し、地元から熱烈な歓迎を受け私たちも多くの支え合いに助けをいただいたながら、日々生活をしていることに改めて感謝する記念式典となった。

○第47回湯山温泉桜まつり

2月20日の桜の里ひなまつりを皮切りに、4月7日の弓道大会までを桜まつり期間として各種スポーツ大会などが行われる。本まつりが3月18日、今回から名称を新たに「花より団子マラソン大会」が4月1日に開催。

○ひとり金婚のつどい

良き伴侶に恵まれ、苦楽を共に分かち合いながら人生を過ごされたご夫婦が、結婚50年目をお一人で迎えられる節目の年に、長年の労をねぎらい、ご長寿とご健勝をお祝いするとともに、村づくりへのご貢献に対する感謝の意を表することを目的として水上村社会福祉協議会の新たな取り組みとして行うもの。50年目以上の全ての方に呼



びかけ、現在23名の方から申し出をいただいております。3月20日、湯山「石倉交流施設」において開催。

○熊本県立大学との包括協定の締結

熊本県立大学においては、自治体や企業などを通して地域との協働により地域課題を解決し地域貢献に資するため、平成18年に包括協定制度を設け現在20団体が締結を行っている。人口減少や高齢化社会、産業振興問題等に直面している本村も各種地域振興施策や福祉施策に取り組んでいるが、更に神聖な地で学問、技術を習得し個人個人の個性を磨き高める学生の新たな視点から、水上村の調査研究を通して様々な課題解決の1路を見いだすことを期待したい。

○人吉球磨地域が一体で取り組む観光地域づくりの推進

人吉球磨地域が平成27年に日本遺産の認定を受け、広域連携の活動を模索しながら各市町村がそれぞれの観光事業に取り組んでいる現状から、市町村の他、各種経済団体が一体となって広域連携の観光地域づくり推進の組織を立ち上げ、地域経済の活性化を目指すために熊本県、人吉球磨全市町村により検討を加えている段階。今後は更に市町村等の課長会の開催や今月末の設立発起人会を経て4月以降に推進組織が実動する予定。

○職員の退職と採用

退職者 1名。
採用者 一般事務採用2名。

教育長諸般の報告

○水上中学校2年生、子ども議会体験

社会科学習の一環として議会の模擬体験をさせ、郷土の良さを再認識させるとともに村の取り組みや課題について学び、将来の主権者としての態度を育成させたいという要望があり、議長、村長の許可を得て昨年12月19日に開催させていただきました。生徒は緊張した様子だったが、質問に対し関係各課長から丁寧な答弁があり地方自治に関する良い体験、良い学習ができた。

○スクールバス購入

平成7年に購入の岩野線を運行していた定員66名のスクールバスが老朽化し、安全性確保の面でも更新の必要があったため、へき地児童生徒援助費等補助事業を利用し定員29名のスクールバスを購入。平成29年12月25日



に納入され、それまで湯山線を運行していた定員57名のスクールバスを岩野線で運行し、今回購入のスクールバスを湯山線で運行している。

○第65回球磨一周市町村対抗熊日駅伝大会

昨年12月17日に開催され本村から3チームが出場し、村の意気込みを他市町村に示すことができたと思う。結果は皆さんご存じのとおりであるが、今後スカイヴィレッジを練習拠点とすることにより、競技力も更に向上していくものと思う。

○第44回郡市対抗熊日駅伝大会

2月11日に開催され天草市役所前をスタートし熊本市びぶれす熊日会館前をゴールとする14区間、106.5kmで争われ、本村からは早田哲也選手と大手敬史選手がメンバーに選ばれて出走。早田選手は9区で区間3位、大手選手は14区で区間3位の力走をみせ球磨郡の準優勝に貢献。中学、高校を除く一般選手は全員が「チームスカイヴィレッジ」所属の選手で尚一層のパフォーマンスが発揮できるよう応援を続けていきたい。

○岩野公民館改築工事

建屋は既に完成し、千人塚古墳群等出土品の展示や1階部分の放課後子ども育成クラブのための備品搬入、設置を行い新学期に向け準備を進めている。



○花より団子マラソン大会申し込み状況

現時点で、招待選手として第一生命陸上部8人、大牟田高校陸上部33人、一般参加が721人で合計762人の申し込みがあっている。応援の程よろしくお願いしたい。

条例

◇水上村情報公開条例及び水上村個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について

行政機関の保有する情報の公開に関する法律の一部改正及び行政機関が保有する個人

人情報の保護に関する法律の一部改正に伴う条例改正です。

◇水上村認可地縁団体の印鑑の登録及び証明に関する条例の制定について

一定の手続きのもと、村長から法人格の認定を受けることで行政区の財産を行政区名義で不動産登記することができるように、認可地縁団体としての印鑑の登録及び証明について必要な事項を定めるものです。

◇水上村一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について

熊本県に準拠し、本村一般職員の現給保障期間を2年間延長するための条例改正です。

◇水上村子ども医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について

本村への転入者が助成対象者となるには、住所を有することとなった日から2ヶ月経過を要していたものを、

転入したその日から対象者とし、医療費助成の申請は保険医療機関で受診した



月の末日から6ヶ月を経過したものは申請できなかつたものを、2年に改め対象者の便宜を図るための条例改正です。

◇水上村小型合併処理浄化槽設置整備事業補助金交付条例の一部を改正する条例の制定について

熊本県の補助加算額を受け入れるための条例改正です。

◇水上村国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

国民健康保険制度改革により平成30年度から始まる熊本県と市町村との共同財政運営の中で、熊本県が示した運営指針に伴う条例改正です。

◇水上村後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例の制定について

持続可能な医療保険制度を構築するための、国民健康保険法等の一部を改正する法律の施行に伴う条例改正です。

◇水上村介護保険条例の一部を改正する条例の制定について

第7期介護保険事業計画に基づき、平成30年度から32年度までの新たな3ヶ年の保険料及び低所得高齢者の保険料軽減について改定を行うことに伴う条例改正です。

◇水上村指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の制定について



地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法律により、都道府県が所管していた指定居宅介護支援事業所の指定権限が市町村に移管されることになったことに伴う条例制定です。

◇水上村指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定について

指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準の改正に伴う条例改正です。

◇水上村指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準の改正に伴う条例改正です。

◇水上村指定地域密着型介護予防サービスの

事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準の改正に伴う条例改正です。

◇水上村土地改良事業補助金交付条例の一部を改正する条例の制定について

村単独で整備される小規模な土地改良においても、不利的条件を緩和するため現行の補助率を一律に70%に嵩上げし、農家の経営意欲と農業振興を図るための条例改正です。

◇水上村道路工事補助金交付条例の一部を改正する条例の制定について

農道、林道、作業道について工事の種類を問わず一律70%に嵩上げし、インフラの基盤となる道路整備を推進するための条例改正です。

補正予算

○平成29年度水上村一般会計補正予算（第10号）

歳入歳出予算の総額に680万円を追加し、総額を33億5,175万円とするものです。

歳出の主なものは、定住促進事業費591万円などを追加計上しました。また、災害防止費7,280万円を30年度へ繰り越しました。

○平成29年度水上村国民健康保険特別会計（事業勘定）補正予算（第3号）

歳入歳出予算の総額に2,583万1,000円を減額し、総額を3億8,951万7,000円とするものです。

○平成29年度水上村介護保険特別会計補正予算（第3号）

歳入歳出予算の総額に700万円を追加し、総額を3億5,657万3,000円とするものです。

○平成29年度水上村後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）

歳入歳出予算の総額に36万9,000円を減額し、総額を3,211万5,000円とするものです。

○平成29年度水上村簡易水道事業特別会計補正予算（第3号）

歳入歳出予算の総額に462万4,000円を追加し、総額を3,917万2,000円とするものです。

○平成29年度水上村下水道事業特別会計補正

予算(第2号)

歳入歳出予算の総額に48万円を減額し、総額を4,431万6,000円とするものです。

その他

- 水上村高齢者生活福祉センター(桜寿苑)の指定管理者の指定について
社会福祉法人水上村社会福祉協議会が指定管理者として指定されました。
- 市房ダム湖力ヌー館「あめんぼー館」の指定管理者の指定について
- 噴水公園休憩施設(物産館)の指定管理者の指定について
- 市房山キャンプ場の指定管理者の指定について



- 湯山温泉元湯の指定管理者の指定について
- 水上村農畜産物処理加工施設「山の幸館」の指定管理者の指定について

以上の5つの施設については、株式会社みずかみが指定管理者として指定されました。

- 水上村辺地総合計画の策定について
- 水上村商工会員の借入資金に関する預託について
- 球磨郡公立多良木病院企業団の共同処理する事務の変更及び規約の一部変更について
- 議員派遣の件について
- 継続審査申出書について

3月29日開催

第1回臨時会

補正予算

- 平成29年度水上村一般会計補正予算(第11号)

歳入歳出予算の総額に2,190万円を追加し、総額を33億7,365万円とするものです。

歳出の主なものは、水上村農産物加工所整備事業3,200万円などを追加計上しました。

また、6事業6,845万5,000円を30年度へ繰り越しました。



①携帯電話不通話解消対策事業	25万5千円
②地域公共交通対策事業	200万円
③簡易給水施設整備事業費	180万円
④水上村農産物加工所整備事業	3,200万円
⑤定住促進事業費	700万円
⑥29年災公共土木施設災害復旧費	2,540万円

その他

- 継続審査申出書について



一般質問 考えを質す!



山崎 隆浩 議員

Q

職員数の実態と、今後の対応策は

A

不足しているのが実態。独自の採用試験の検討を含め、計画的に採用を行いたい。

問 「条例に定める職員定数」と、現在の職員数は。

答 田代総務課長 「条例に定める職員定数」は75名、現在は54名で業務にあたっている。

問 条例と現在の職員数に開きがあるが、理由は。

答 田代総務課長 平成14年より「三位一体の改革」が行われ、歳入減に対応するため選択肢の一つが人件費削減であった。退職者の不補充、採用の抑制により70名の職員が平成17年には63名となり7名の減となった。さらに、平成17年より5ヶ年間にわたる「集中改革プラン」により、平成22年までに56名とする計画で、早期退職もあり平成22年4月1日現在53名となった。

問 情報化がますます進むことにより、業務の内容も高度で複雑化し、職員の仕事量や業務に関する悩み事などは年々増加していると思うが、調査やヒアリング等行われているか。

答 田代総務課長 平成29年度より職員の能力開発や人材育成のため、「人事評価制度」を試行的に行い、年度当初に目標を設定し、期首・期中・期末の年3回面談を設け、一部の職員に過度の負担が強いられている場合、年度途中で事務分掌を変更し業務量の平準化を図っている。また、平成29年度より「職員安全衛生委員会」を設置し、産業医を球磨郡公立多良木病院に委託し、「ストレスチェック」を行い、必要に応じて面談を行うよう計画している。

問 マンパワー不足が、職員全体の精神的不安や仕事に向き合う姿勢に影響はないか。

答 中嶽村長 地方分権一括法、事務事業の権限移譲が行われ、職員数は不足しているのが実態と思う。募集人員を増やすため、統一試験以外にも独自の採用試験を検討する必要があると思う。適正な定員管理を行い、年次計画に基づいて採用を行いたい。

問 精神的不安や仕事に向き合う姿勢に影響はないか。

答 中嶽村長 地方分権一括法、事務事業の権限移譲が行われ、職員数は不足しているのが実態と思う。募集人員を増やすため、統一試験以外にも独自の採用試験を検討する必要があると思う。適正な定員管理を行い、年次計画に基づいて採用を行いたい。

編集後記

「日本一の桜の里」を彩ってくれた桜も、ピンク色の花から生き生きとした新緑に変わり、春本番を感じさせ、野にはセリやクレソン（川高菜）、のびるが顔を出し、一歩山に入るとタラの芽やこしあぶら、わらび、筍などの自然の恵みをいただける季節となりました。新年度を迎え、進学や就職した子供達も新しい仲間との出会いや新しい環境への対応に期待と不安で一杯のことでしょう。目標を見失うことなく努力を惜しまず、自分を信じて頑張つて欲しいものです。熊本震災から2年が過ぎました。熊本城大天守の仮設屋根解体も始まり、新しい瓦の大天守がお目見えしました。復興はまだ道半ばではありますが、熊本県のシンボルともいえる熊本城の再建は県民にとって一番の心の支えになるでしょう。がんばろう熊本、がんばろうみんな。 荒嶽 晋



広報特別委員会

- 委員長 荒嶽 晋
- 副委員長 米本 宗徳
- 委員 山崎 隆浩
- 委員 米良 哲